

新潟県公民館月報

昭和33年12月1日(毎月1回)

発行所 新潟県公民館連絡協議会
(新潟市寄居町・越後自由会館)

発行人 丸山直一
(定価 一部 六円)

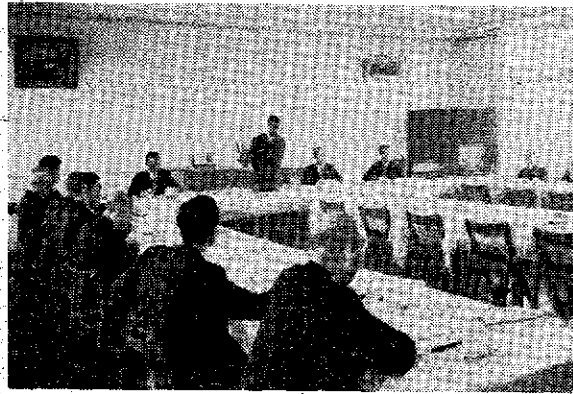
十二月号 (70号)

常任理事に安沢氏就任

第二回評議員会

県公連第二回評議員会は、十一月審議に入った。月二十六日午後二時より新潟市柳本閣で開催されたが、その内容のおもなところはつぎのとおりである。

- 1、本年度事業中間報告(甲田)
 - 2、上半期会計監査報告(坂西)
 - 3、上半期会計報告(田田)
- 以上、いずれも承認される。
- そのあと、田田県社会教育委員より、社会教育法一部改正について説明、報告があり、会則改正案の二、第六条(次の)を新に設け3つつき会則に擬して常任理事に安三、第七条に次の4を新に設け、沢純正氏(刈北)を推薦した。なお会則の改正されたところはつぎのとおりである。
- 1、総務のうちに一人を常任理事とする。
 - 2、理事のうち一人を常任理事とする。



＝写真は評議員会＝

- 4、5、6をそれぞれ4、5、6、7とする。
- 3、常任理事は、理事会の同意を得て会長が委嘱する。
- 4、5、6を5、6、7とする
- 4、常任理事は、会長の命により一般業務を処理する。

文部大臣表彰

見附市中央公民館

前月号でもお知らせしたとおり見附市中央公民館は十一月三日、皇国で文部大臣より全国優良公民館として表彰された。

同公民館は、昭和二十四年四月見附中学校に間借りして発足し、二年から施設の充実につとめる一方、成人学級の開設、各種グループ・サークルの育成指導などを行い、現在五十余団体が、それぞれ活発な活動を行っている。このため昨年は全国優良公民館として文部大臣表彰を受け、市民の間に公民館に対する認識が深まり、独立館建設の声がたかまつた。



本会役員 北村知事訪問

丸山会長はじめ石井、山崎副会長、安沢、内山、小杉、樋口、南原の各理事は、田田理事とともに十一月二十六日夜、知事公舎へ北村知事を訪れ懇談した。知事は終始にわたる懇談で、しかも熱心に公民館側の要望を聞き、また意見を述べられた。話題は広く各方面にわたったが、ことに視覚教育のことについては、深い関心をもっておられた。そのほか職員研修、県の行政機構のことなどエピソードをまじえた話しぶりで、いつ戻ることもわからないものであったが、また後日にゆずることとし、今後の御高配をお願いして辞去した。

木造二階建延べ五六二平方メートルの独立館が完成し、六人の職員が中心となり青年学級、成人講座、簿記、二、五%に上っている。

栃尾市で中央公民館

予算六百万円で来年建設

栃尾市では中央公民館を新設することにになり、このほど百人にのぼる推進委員を委嘱した。

いまの公民館は民家を改造した粗末な建物なので、市当局でも早急に建て替えるため資金の積立てを始めたが、こととして大休学校建築が終わるので三十四年度新築

次

目

- 県社会教育委員との懇談会から..... P.2
- 県町村会との懇談会から..... P.2
- 公民館職員の内閣留学..... P.3
- 県内公民館図書部の現状..... P.4~P.5
- 公民館活動アルバム..... P.7

算は約六、七百万円で延六百万平方メートルのモダンな建物にしようとする計画をいっている。なお予算のうち二百万円程度を市民の寄付でまかなう予定。

天皇陛下下のおことば このたび優良なるかどをもって表彰をうけられた皆さんとお会い出来たことを喜びます。公民館はわが国文化向上に至大の関係をもちますから、今後益々努力することとを希望します。

職員研修所の設置を望む 八県公連

△県社会教育委員会▽
社会教育委員との懇談会から

県公連の事業の一環として、各団体との懇談会が計画されていたが、十一月十四日、県立図書館において、県社会教育委員との懇談会を行った。

社会教育委員会から大井委員長ほか七名、県社会教育課から渡辺課長ほか四名、県公連から安沼理事ほか四名が出席した。そのおもな要旨は次のとおりである。

大井 われわれは、市町村社会教育婦人会館や青年の家などと並行し、青眼及び教育委員会事務局の充実、いや、むしろそれ以上に職員と、公民館職員の強化、更に公民館研修所の設置を望むものである。館職員研修所の設置について、県内山、よの公民館活動の急には、へ具申してきた。

小杉 教育委員会の庁舎を建設するところだが、施設はともかく、人の面において立派な職員を公民館に頼ってばかりいけば、なかなか進歩できない。婦人の自主性を養い、自由に学習させるために婦人会館の建設にふみきったのだ。

大井 社会教育法一部改訂案の中の第十三条(補助)削除のことについてだが、補助をうけること

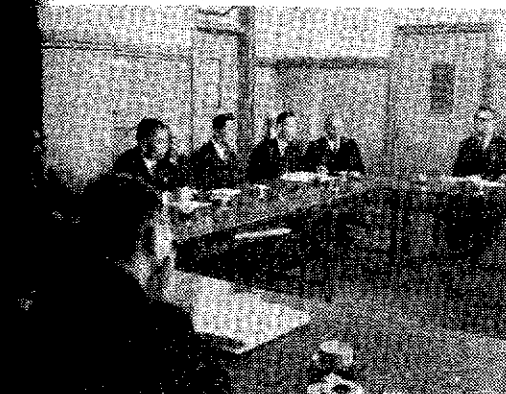
田巻 最近公民館人に、自分達だけが無視されているというひびがみか見えてきている様だと思われる。公民館の存在価値が地域住民の間でどれだけまわっているのかという反省が必要ではないか。

藤原 公民館活動は、住民一人一人に浸透してきたところ、中途半端のところがある。

小杉 県の行政の行き方が現場に強く影響している。県は行政の拠点をおくところにおくのか。

村田 婦人活動は、青年団活動などから比べれば、まだレベルが低く、従って、いつまでも青年団や公民館に頼ってばかりいけば、なかなか進歩できない。婦人の自主性を養い、自由に学習させるために婦人会館の建設にふみきったのだ。

小杉 青年団や婦人会などの中心となって活動するのが公民館だ。その公民館職員は、ま



県社会教育委員と懇談する県公連役員

藤原 研修所ができたなら、公民館職員だけでなく、市町村行政関係者もいっしょに研修できる。

田巻 最近公民館人に、自分達だけが無視されているというひびがみか見えてきている様だと思われる。公民館の存在価値が地域住民の間でどれだけまわっているのかという反省が必要ではないか。

藤原 公民館活動は、住民一人一人に浸透してきたところ、中途半端のところがある。

小杉 県の行政の行き方が現場に強く影響している。県は行政の拠点をおくところにおくのか。

村田 婦人活動は、青年団活動などから比べれば、まだレベルが低く、従って、いつまでも青年団や公民館に頼ってばかりいけば、なかなか進歩できない。婦人の自主性を養い、自由に学習させるために婦人会館の建設にふみきったのだ。

大井 社会教育法一部改訂案の中の第十三条(補助)削除のことについてだが、補助をうけること

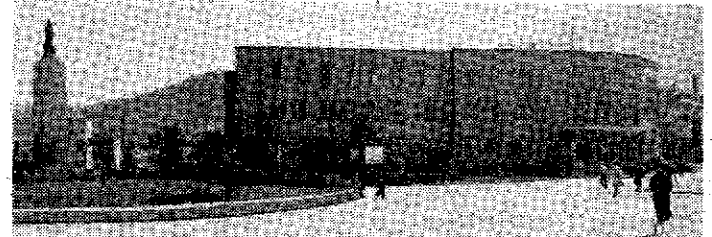
田巻 最近公民館人に、自分達だけが無視されているというひびがみか見えてきている様だと思われる。公民館の存在価値が地域住民の間でどれだけまわっているのかという反省が必要ではないか。

藤原 公民館活動は、住民一人一人に浸透してきたところ、中途半端のところがある。

小杉 県の行政の行き方が現場に強く影響している。県は行政の拠点をおくところにおくのか。

村田 婦人活動は、青年団活動などから比べれば、まだレベルが低く、従って、いつまでも青年団や公民館に頼ってばかりいけば、なかなか進歩できない。婦人の自主性を養い、自由に学習させるために婦人会館の建設にふみきったのだ。

小杉 青年団や婦人会などの中心となって活動するのが公民館だ。その公民館職員は、ま



八縣市公民館で開催した第五回都市公民館研究大会は、参加者総数五百余名が終始きわめて熱心に研究討議を重ねた。本県からの参加者は三名、甲田

主筆は第一分科会の助言者、松本十三雄氏は第六分科会の司会者として活躍していた。そして最終日の全体討議において、その要望書を関係方面に提出すること

要 望 書
社会教育の中心として公民館施設が提唱されて

設置が提唱されてから十有数年幾多の苦勞と辛勞にたゞ今日の状態をみるに至った

しかしながら公民館活動は多くの天解決の方策として、社会教育

(附記) 社教法改正のことによれば、たゞで残念ながら期会時間となり、また日をあらためて会合をもつ事案を約して解散した。

法改正への要望を決議
第五回都市公民館研究大会終る

一、社会教育法等の一部を改正する法律案の今次国会における成立を期する。なお、公民館主事の必要を強く要望する。

二、社会教育予算、とくに公民館関係予算を大幅に増額すること。

三、公民館等社会教育施設の建設についての起債を優先的に認めること。

昭和三十二年十一月八日
第五回全国都市公民館研究大会

わかる(丸山)
・公民館の仕事は、その時々によ

果は異なる。それだけに困難はあつたにしても、やはりいろいろな形で足跡を残している(丸山)

・市町村における社会教育活動のよ

くいつているか否かは市町村理事

事者の理解の如何によつてかなり

差が出てきている(藤原)

・現在の県インフラリーのような

状態だと、街路費活動の将来があ

やぶまれる(小杉)

・福岡県では職員研修施設がよく

出来ていたが、本県でもぜひ欲

が欲しい(藤原)

・県の立場から職員研修施設が

欲しい(藤原)

恒例にのり

来月号(新年

号)には、公

民館で日ごと

御活躍されて

いる皆様から

原稿をお寄せ

いただき、特

号として発行したいと思つて

おりますので、多くの方が原稿

をお寄せくださるようお願いしま

す。

記

詩、短歌、俳句、隨想、日記

写真など、編数 枚数は自由。

締切 二月二十五日(木)

なお、公民館活動記録写真、活

動記録簿、公民館職員日記

など随時お寄せ下さい。

県町村会との懇談会から

十一月二十六日、イタされなかつたが、町村会から伊川 誦し合いが続けられ、午後三時解散した。以下その要旨

・現在の区長制度は町村における民とのつながり、組織との関連を

区長は、地域の水利関係や徴税

などの面から部落には大切な存在

である(伊川会長)

・区長は行政の方の仕事が部落住

民に伝達する立場だが、公民館は

住民の要望に沿つて動らしていく

という立場にある(石井)

・新生活運動を進めていく上から

見て、現在それぞれ地域の住

民とのつながり、組織との関連を

区長は、地域の水利関係や徴税

などの面から部落には大切な存在

である(伊川会長)

・区長は行政の方の仕事が部落住

公民館職員の内閣

私の考え

刈羽村公民館長 安沢純正

公民館が本宅に住民のものとして予備措置その他も出来ましたので、親まれ歓迎される為には、新し早速五月上旬から七月下旬に亘り時代の世帯として、その力を十分に発揮できる有能な職員を養成する事が第一と考へ、この人達を専任職員を次々に長期研修に派遣せよと、研修の重点は各々調査をせよと、研修者は夫々次の報告でありましたが、今年度議案に提案を寄せていますが、何分にも沢山

な内容でもあり、充分には述べきれないと思うが、概略報告して御承を得たいと存じます。
なお研修者をこの中で受け入れて下さいました三市町長様を始め教育長、公民館長及び関係役員の方々、紙上手を借りて深くお礼申し上げます。

充実した学級

村上市中央公民館 広川資郎

私が村上市で研修した期間は五常時一人の専任職員が活躍している。更に交館の管内に分館がある。この間私なりに社会教育の特に山辺地区(農村)の分館におよその勉強が出来ましたことを素直らしい独立建物が増え、喜んでおります。住民に交えられ、現在建築中のもも二館ほど、公民館活動がどの様に地域の発展に役立つかを身をもって経験し、参る事が私の仕事でした。

中央公民館は現在独立建物がないが、旧地方事務所を借りて、市民の資金で独立施設を新築する運動が行われており、あとは時間の問題と云へ。中央公民館に館長以下五人が常勤し、合併した旧村の地区毎に支館が四館、そこに

活発な調査活動

栃尾市中央公民館 山本健二

五月七日から六月六日までの一カ月間、主として栃尾市中央公民館で実施し、その統計資料を学級、講座、講習など各活動に利用して、文庫賞史跡からは多数の史蹟、はにわが出土し、県下でも屈指の史跡となっており、現在も引き続き、発掘、資料作製に力を入れている。

五月七日から六月六日までの一カ月間、主として栃尾市中央公民館で実施し、その統計資料を学級、講座、講習など各活動に利用して、文庫賞史跡からは多数の史蹟、はにわが出土し、県下でも屈指の史跡となっており、現在も引き続き、発掘、資料作製に力を入れている。

社会教育法一部改正 通常国会に提出したい

福田社会教育局長語る

全公民館人が、早期成立を希望しつづけた社会教育法一部改正法案は、一部改正法案は審議未了となり、関係者はいたく失望されている。しかし、文部省ではあらためて来るべき通常国会に提案することとし、これについて、福田社会教育局長は、つぎのとおり決意を語った。
国会が承知のような状況で社会教育法一部改正法案は審議未了となったが、その成立について各地の公民館関係者から非常な熱意のある声援をいただいたことは感謝にたえない。同法案はつぎの国会に重ねて提案するつもりであるので、これまでと同様の協力を得たい。

地域に即した分館活動

西蒲巻町公民館 遠藤鉄太郎

専任職員が六名、小使さん一名。分館数は一五、内新築が四、転用が四、併設七となっている。何〇〇円、多い分館で二三五、〇〇〇円となっており、本館の総予算額三百万円に対して約一六〇万円という大きな数字を示している。こうした恵まれた環境の中で、お互いが励まし合ったり、苦案を語り合ったりする場として大いに利用されている。

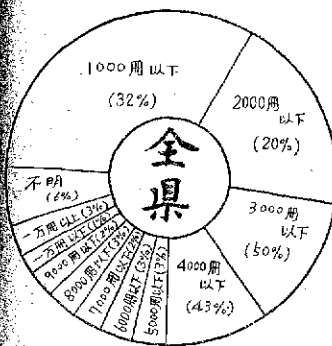
専任職員が六名、小使さん一名。分館数は一五、内新築が四、転用が四、併設七となっている。何〇〇円、多い分館で二三五、〇〇〇円となっており、本館の総予算額三百万円に対して約一六〇万円という大きな数字を示している。こうした恵まれた環境の中で、お互いが励まし合ったり、苦案を語り合ったりする場として大いに利用されている。

生活が出来るかという考え方が今までと違っている。これは昔からの諺に言われていることだ。いわば一つの目的に向って苦勞さすれば、その目的が達せられるという考え方をあらため、いろいろの考え方を苦勞すること、目的ではなく、結果が目的なのだから、問題意識を先ず持つことによって、最大の効果と目的が達せられるのだというふうに、全てと取組んでおられる点は大いに我々も学ばねばと痛切に感じられた。

概覧からみた県内公民館図書部の現状

— 望まれる図書室の充実 —

少ない図書費と書籍数

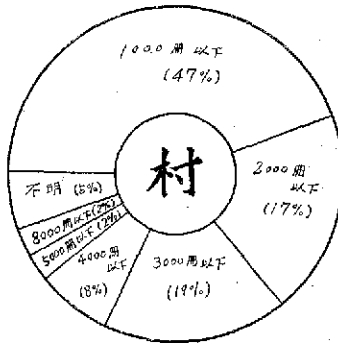
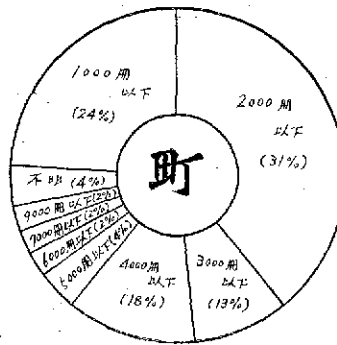
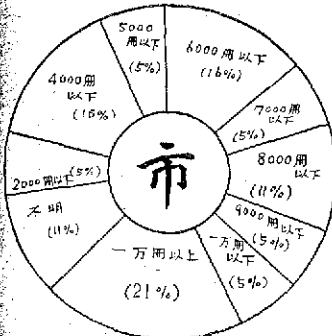


① どれだけ本を持っているか

と、読書傾向を知ることができ、概算ではそのままで調査していないので、ここに発表はできない。

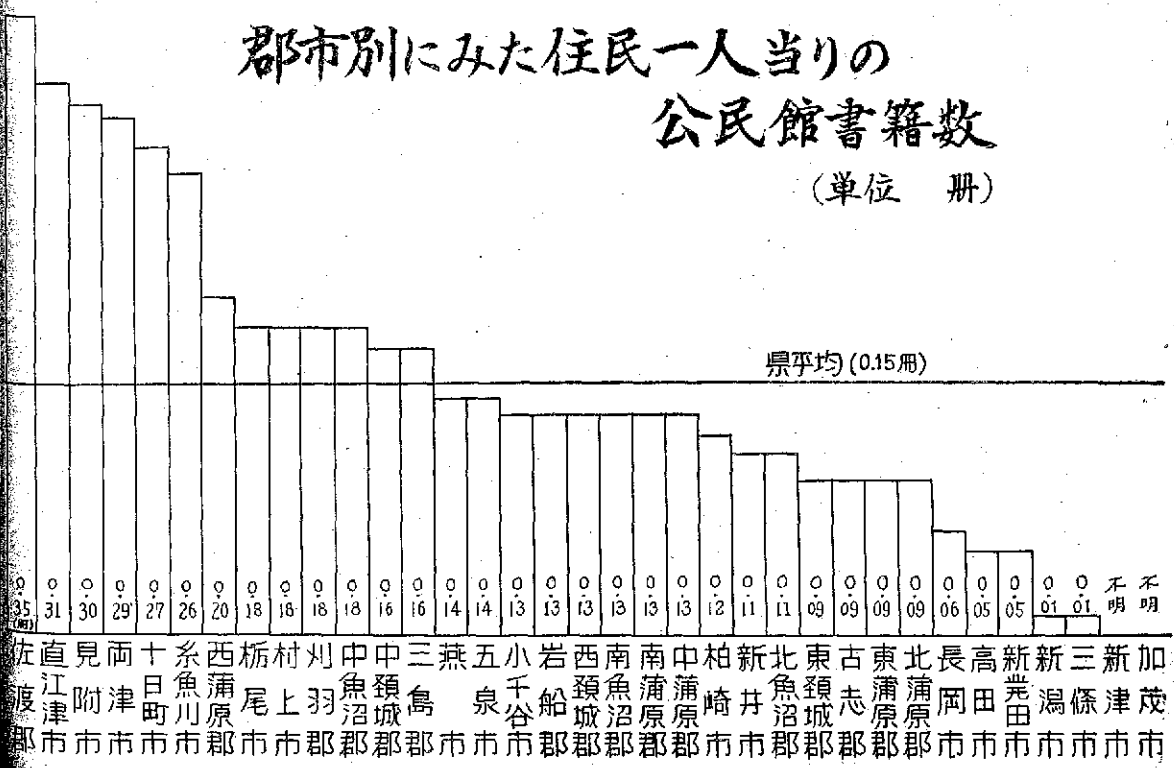
県内各公民館が所有している書籍数は三万冊余で、一館当り、一、二四六冊となっている。次に、各市町村で一体どれだけの本をもちているかを調べてみると、いちばん少ないところでも四二冊、さらに五八冊、一一〇冊、一八三冊などがあり、一方多い方は、直江津市 一一、五四五冊、見附市 一一、九八八冊、十日町市 一〇、六四六冊、糸魚川市 一〇、二二七冊、柏崎市 九、五六六冊、西蒲・巻町 八、八四九冊、両津市 八、六六六冊、新潟市 七、八五九冊、栃尾市 七、三七一冊、佐渡・金井村 七、一四七冊、小千谷市 六、六七六冊、西蒲・苗田町 六、二九五冊となっている。

なお、どういふ種類の本をどれだけもっているかということがわか



郡市別にみた住民一人当りの公民館書籍数

(単位 冊)



公民館として村の振興に 果たした役割

北蒲原郡黒川村公民館

村の健全な発展は、村理事者の善政と村民の自主的な盛上りの両面にあると考えられる。当公民館は村民が一人一人が正しい判断力をもち盛り上げる力を遂げるための人づくり(社会教育活動)と、村政の実態をよく知らせ正しい批判と真の協力を得て、今現在の村行政の推進に役立つための広報活動を
一、行政との提携
●公民館報の発行(年五回)村の事業、村財政、村民の声、新生活運動などを主に載せている
●有線放送による役場の広報を公民館が担当してやっている
●又村民、各課長の参加を得て「村政を聞く」の自主番組を設けてその時々々の村政の事情を知らせている。月一回村民の「声」を募集し放送し、毎土曜に役場始め、各団体での出来ごとを編集し「村の週間ニュース」を報道している。

社会教育センターとしての 公民館活動

直江津市公民館



県知事をかこむ農家の主婦と若い者との座談会

二、社会教育活動
●生産向上と生活改善の原動力になっている青年団、婦人会などの育成充実、特に今年度は村内のすべての青年団地の連絡会を育成し、村づくりへの力を結ぶはかり、村づくりへの力を結ぶため、村青年団連絡協議会を育成し、これが即産業振興に一役うごころになった。
●公民館が中心になって新生活運動を推進し、村の生活面の合理化を図っている。

- 一、公民館が各町各機関係団体と協力し推進してきた具
- ▲文化面
 - 1、市立図書館の設立(蔵書一万冊)
 - 2、消防設備の充実
 - 3、児童施設(保育)の充実
 - ▲産業面
 - 1、港の開港の発展的な計画
 - 2、中学校々舎の新築
 - 3、小学校の新設(古城小)
 - ▲遊園地
 - 1、衛生環境整備(待みよい郷土建設)となって現れた。
 - 2、中高、商高美術教室増築
 - 3、ガソ、水道施設の充実
 - 4、テニスコート、野球場が完成
 - ▲教養面
 - 1、農高、商高美術教室増築
 - 2、中学校々舎の新築
 - 3、小学校の新設(古城小)
 - ▲施設面
 - 1、港の開港の発展的な計画
 - 2、中学校々舎の新築
 - 3、小学校の新設(古城小)
 - 4、燈台二基
 - 5、漁港設備着手
 - 6、埠頭設備着手
 - 7、堤延長
 - 8、漁港設備着手

●各種講座を開設し、村民の教養の向上につとめている。
●文化祭、農技術及生活体験発表会を開き、相互研究の機会を与え、産業文化の向上の定かかにしている。
以下が公民館は、村の行政と公民館活動はマッチしていなければならぬという考え方に立って、現在の村政の推進のため、将来の村の発展と土地をつくるために努力しているつもりである。

好評を博した モデル公営結婚式

刈羽郡黒川村公民館

黒川村青年連盟では、このたびモデル公営結婚式を開催した。これは先に行われた第一回の際の要項にもつき、地区婦人会も分館の後援のもとに行われたものである。このモデル公営結婚式の新郎新婦はじめ、モデルはすべて地区の青年達が担当、分館主催の進行によつてなごやかなうちにもおごそかな式が行われた。
当日は地区の文化祭で、多くの人が熱心に見守るうちに、ところどころに祝詞をとり入れ進んだが、この式典が生活の向上に寄与するところが非常に大きく、今後の村新生活運動が着実な歩みとなることを期待されている。
(黒川村報より)

三、青年問題とつとむ
●青年文化協会の設立
2、ユースホステルの開設
3、ホイスカウトの育成
4、ビービーエスの提携
5、オパール婦人会との連携
四、各種事業など実生活に即した問答と手続方法により、住民が少しでも喜ばしくなるよう努めている。



刈羽郡黒川村公民館

田植えて一貫目やせる

春の田植えて一貫目やせている人のあることがわかり、婦人学級に新しいテーマを付けかけているところがありました。
それは相川町の岩谷口の婦人学級です。岩谷口は相川の町はずれで、町部から十二里もはなれたわずかに三〇戸の部落です。二時間ものバスをおりて、ハゲの穂といつらい味を二つ越え



新築された相川町外海府公民館の岩谷口分館
●石谷口婦人学級は県の指定婦人学級で今年に入ってから、
①山手の飼育 ②杉苗植樹 ③生花 ④はえの敷等二千ものたくさん仕事をやっておられました。
(佐渡島川)

て一時間も歩かなければなりません。目下この時に立派なトンネル工事が出来上っていますから、まもなくハゲの穂も昔語りになることでしょう。
この岩谷口婦人学級はうれしうことに、この夏立派な分館が新築されました。春から青年と婦人と力を併せて埋め立てもやつてのけただけ喜びも一入で、公民館は大ホールの外に小会議室が三つもある六〇坪位のブロック建築です。部落のまん中にくつきり立っている姿は文化的な空気をかもし出してきていました。

岩谷口婦人学級の料理実習

公民館活動アルバム

- ◇ 県内各公民館の活動を、写真により紹介しようと、
- ◇ 先きに公民館活動記録写真集を募集したが、今回その
- ◇ うちのいくつかを載せてみた。
- ◇ なお、今後もひきつづき掲載していく予定なので各
- ◇ 公民館の活動をカメラにおさめてお送りねがいたい。

七月から23人合格

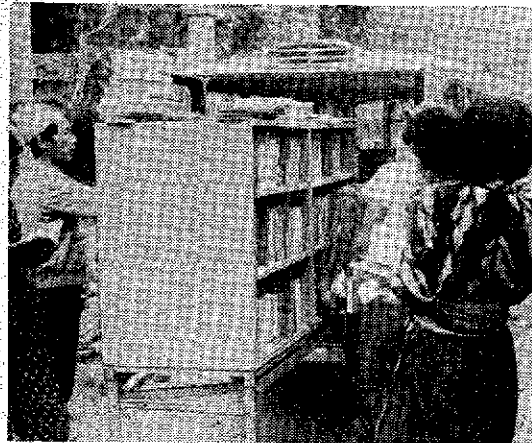
豊栄町公民館 成果をあげる自動車教習会

北浦豊栄町公民館では活動のひとつとして自動車教習会を開いているが、ことしは七月からすでに二十三人の合格者をだし、職業教育に成果をあげている。

公民館での教習会を開いたのはさる三十一年四月。はじめは講義だけで受講者は少なかった。そこで学科のほか実習も行ふことになり、公民館前広場で町役場の自動車を使ってはじめた。また働きな

らから受講する人たちのため、いまは就職あっせんにも乗り出し、まで昼の時間を毎日午後五時から十時までに変更した。

この方法が実を結び、今年度はすでに百二十一人が受講、このうち女子三人をふくめて二十三人が免許をとった。年間の合格目標は五十人だが、受講をはじめから四月間に五〇名ばかりの成績、この分たると目標は軽く突破の見込みだといふ。

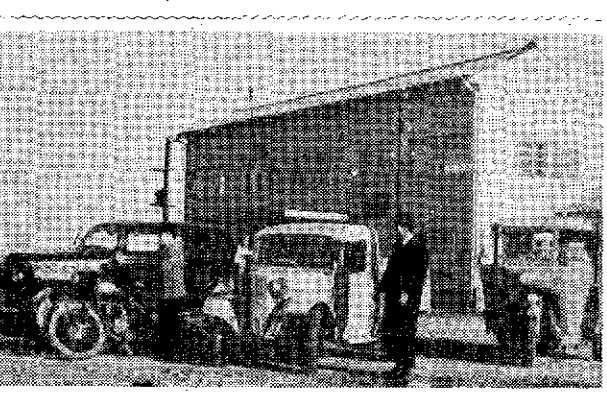


走る公民館
「いずみ号」
加茂市公民館

目的、ヨンを提供する。
本館から名称 いずみ (市民公募による)
離れ、分型 プリンスルートバ
館からも
遠い距離 価格 九六五三三円
に文化、 (割引九三万円)
知識、笑 購入月日 昭和三十三年
いのいず 年七月二十日
みをおく 活動開始 昭和三十三年
り、教育 年八月一日
及びレク
リエーション
運営方針、社会教育



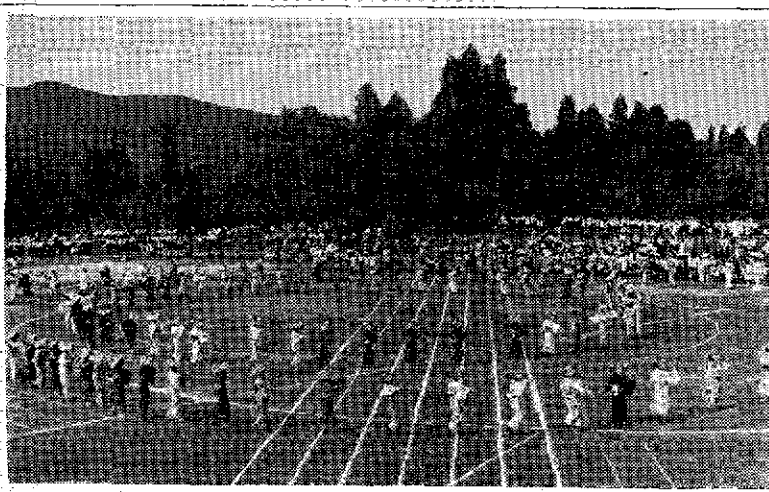
⑨仕事の合間に本を読む村人
たち一七谷地区の山奥にて
⑩田舎道を走る「いずみ号」



今年度は町子員でよくに教習用としてトヨベット一台を購入、いま三百名に達しているが、将来はさらに実用的なバイク、スクーターもやる計画だと公民館で話している。

川柳 山田凡葉

言ひし無能な男陣子張る
連休のまえのことで
降つて欲し
朝の暑切った手が匂うなり
よく食つてしゃべって酒座の
好きは下戸
身支度の妻へ山不精が口をきき
茶タンスの埃を指につけ恥る
知患貴してくれとはつまい
金のこと
ペンで食う
人の不器用をいわず



村民運動会で行われた婦人会による民謡の一場面 (中魚 中里村)

ご寄贈あがとう

10月25日—11月20日

公民館あ 真野公民館だより、行事だより
さひ、広報 (真野町) 中郷だより、清原
ひろかみ、公民館報、広報かわにし、いと
いかわ、なかざと、すがたに、
広報とちお、なかのしま、新井だより、広報
ぶんすい、町のあゆみ、加茂市公民館
(吉田町)
公民館報さ、公民館ニュース(山形公
民館報、三桑市政だより、黒松公民館
んぼく、見、新郷社会福祉、公明選挙時
報、NHK新聞、国立博物館三
館報、黒川公民館報、みずさ
わ、関川公民館報、館報白根、
ユース、ユネスコ新聞、下越フ
イラリだより、新潟県人、
広報つばの、新生(入込瀬村)、
栃尾新聞、旬刊ツバメ。

